

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

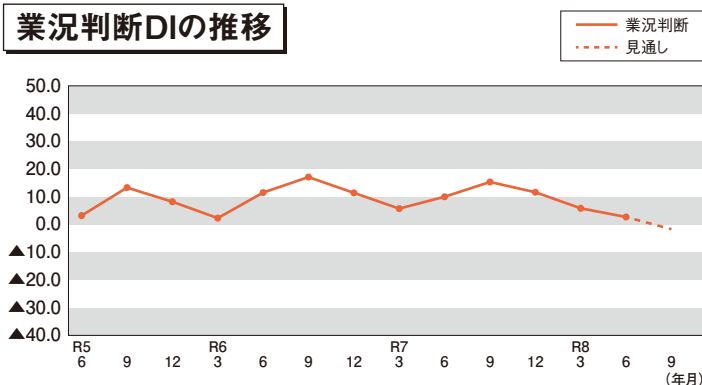
調査の概要

- 調査時期：令和8年6月1日～5日
 - 調査対象：札幌圏（札幌、石狩、空知） 後志圏（後志、渡島）
 - 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社（札幌圏235社・後志圏105社）回答率100%
 - 分析方法：DIを中心とした分析。
DI＝「良い・増加・上昇した先の割合」－「悪い・減少・下降した先の割合」
DI＞0→良い・増加・上昇 DI＜0→悪い・減少・下降
 - その他：「中小企業における価格転嫁について」
- ※DI（景気動向指数）値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

業況判断DIの推移

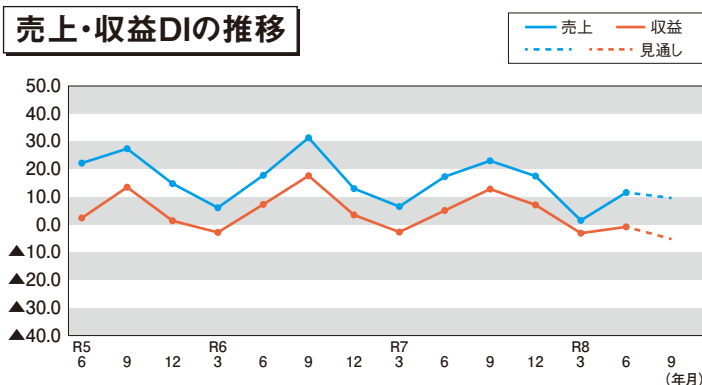


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は2.7と前期から3.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.4ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

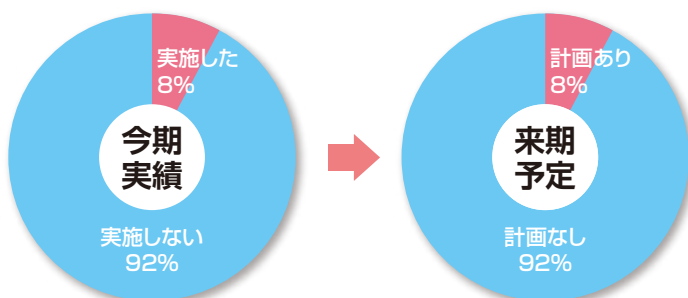
○売上DI～上昇

- ・今期は11.6と前期から10.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から2.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は▲0.8と前期から2.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から4.4ポイント低下する見通し。

設備投資動向

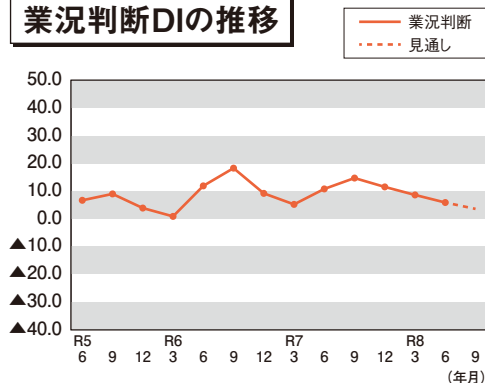


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
原材料高	37.1	26.8
人手不足	25.9	34.1
利幅の縮小	24.4	20.9

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	57.9	53.2
販路を広げる	32.4	29.7
人材を確保する	27.4	34.7

札幌圏

業況判断DIの推移

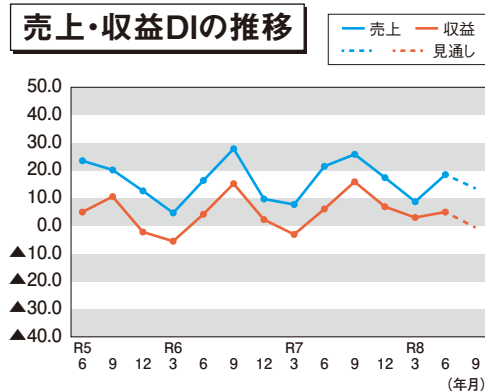


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は5.9と前期から2.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から2.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

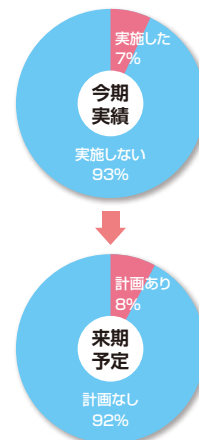
○売上DI～上昇

- ・今期は18.5と前期から9.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は5.0と前期から2.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.6ポイント低下する見通し。

設備投資動向

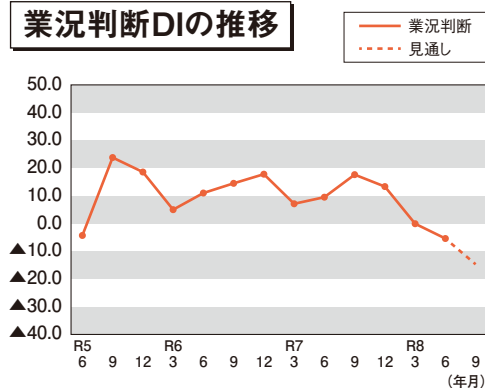


経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	35.3	25.1
人手不足	23.8	32.3
利幅の縮小	23.0	19.1

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	57.4	53.2
販路を広げる	34.0	29.8
人材を確保する	24.3	32.3

後志圏

業況判断DIの推移

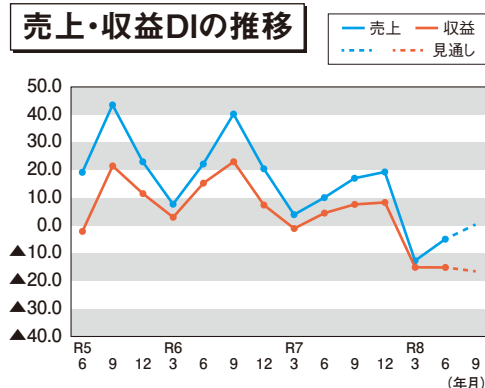


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は▲5.4と前期から5.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

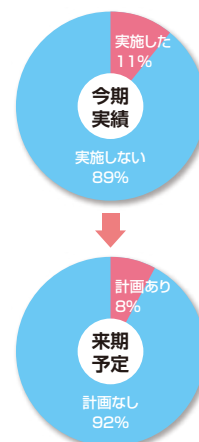
○売上DI～上昇

- ・今期は▲4.9と前期から7.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は▲15.1と前期から0.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から1.4ポイント低下する見通し。

設備投資動向



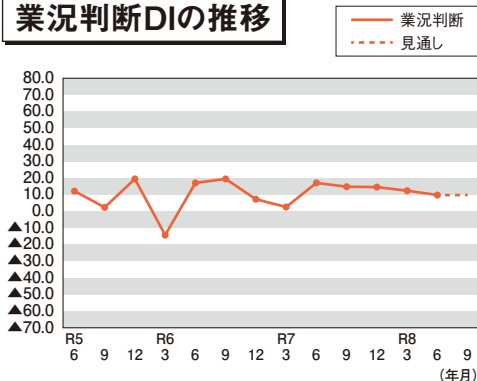
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	41.0	30.5
人手不足	30.5	38.1
利幅の縮小	27.6	24.8

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	59.0	53.3
人材を確保する	34.3	40.0
販路を広げる	28.6	29.5

製造業

札幌圏（調査数41社・回答数41社・回答率100%）

業況判断DIの推移

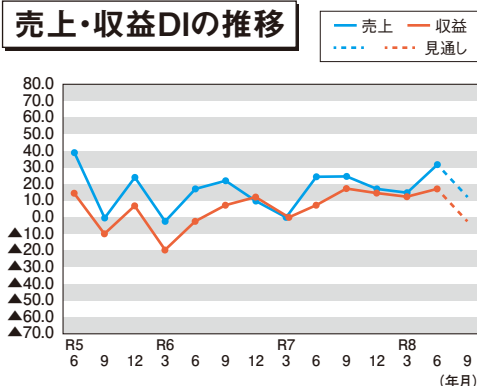


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は9.8と前期から2.4ポイント低下した。
- ・来期は9.8と横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇

- ・今期は31.7と前期から17.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から19.5ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は17.1と前期から4.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から19.5ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・ヒーター

仕入価格は上昇しているものの販売価格への転嫁が進んでおり、利益水準はおおむね維持している。

・調味料、きなこと

新商品の開発や既存商品の高付加価値化を推進した結果、商品に対する需要が高まり売上増加につながっている。

経営上の問題点（複数回答）（%）

原材料高	65.9
利幅の縮小	29.3
売上の停滞・減少	22.0

当面の重点施策（複数回答）（%）

経費を節減する	65.9
販路を広げる	46.3
情報力を強化する	24.4

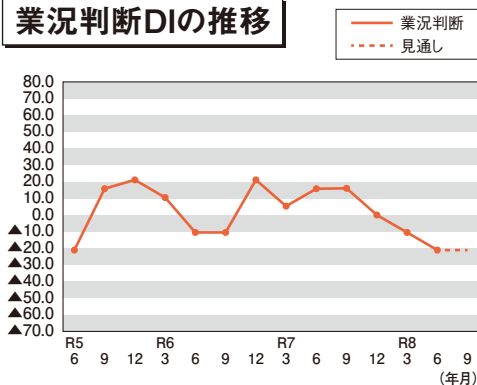
設備投資動向（%）

今期設備投資を実施した	4.9
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	9.8

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数19社・回答数19社・回答率100%）

業況判断DIの推移

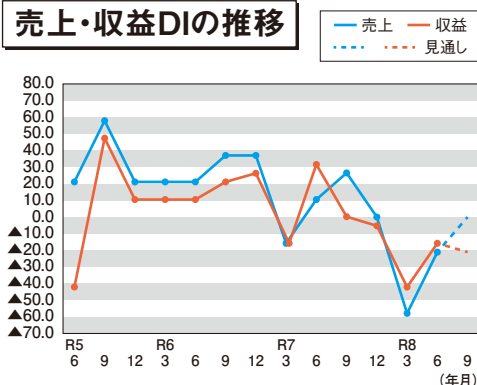


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は▲21.1と前期から10.6ポイント低下した。
- ・来期は▲21.1と横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇

- ・今期は▲21.1と前期から36.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から21.1ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は▲15.8と前期から26.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・魚肉練り製品（ちくわ、さつま揚げ）

原材料価格の高騰が大きいですが、大手企業からの受注が順調で売上増加。収益も確保できている。

・清酒

道内外に製品のファンが多く、注文数は増加傾向。原料となる米の価格変動の影響はあるものの、価格転嫁に努めている。

経営上の問題点（複数回答）（%）

原材料高	78.9
利幅の縮小	31.6
売上の停滞・減少	21.1

当面の重点施策（複数回答）（%）

経費を節減する	57.9
販路を広げる	47.4
人材を確保する	26.3

設備投資動向（%）

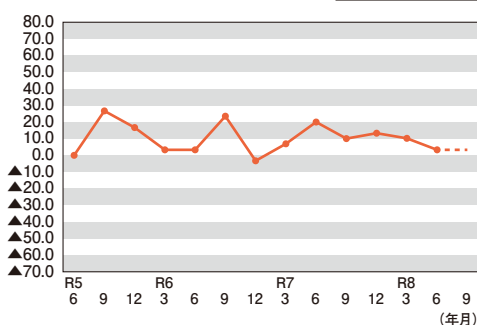
今期設備投資を実施した	5.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

（不動産、機械、事務機器、車両等）

卸売業

札幌圏（調査数30社・回答数30社・回答率100%）

業況判断DIの推移

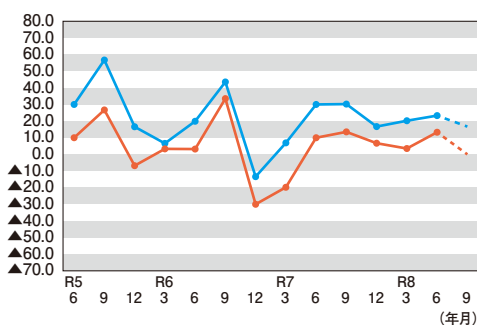


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は3.3と前期から6.7ポイント低下した。
- ・来期は3.3と横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇

- ・今期は23.3と前期から3.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から6.6ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は13.3と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から13.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・電設資材卸売業

売上は前期並み。北海道も夏場は気温が高くなり、エアコンの需要が高まり好調である。

・ゴムシート、港湾資材

道内外に多数の優良取引先を有しており、自社ブランド製品をメインに安定した売上利益を確保している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	36.7
売上の停滞・減少	30.0
利幅の縮小	30.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	73.3
販路を広げる	63.3
人材を確保する	30.0

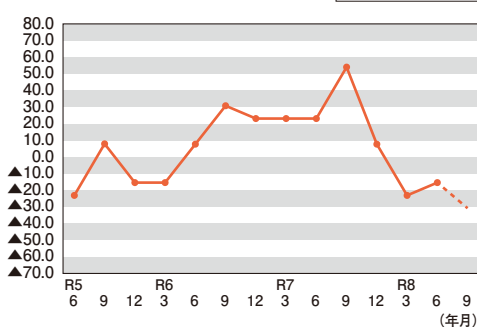
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏（調査数13社・回答数13社・回答率100%）

業況判断DIの推移

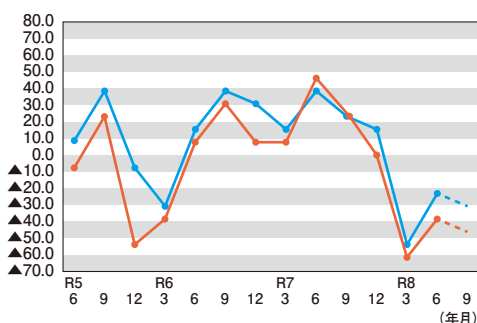


コメント

○業況判断DI～上昇

- ・今期は▲15.4と前期から7.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から15.4ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇

- ・今期は▲23.1と前期から30.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は▲38.5と前期から23.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・農産物集荷販売業

農産物の仕入価格の上昇分を80～100%販売価格に転嫁できており、業況は安定している。

・米

長年の業歴により、取引先と良好な関係性を築いており、堅調な経営が続けている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	46.2
売上の停滞・減少	30.8
利幅の縮小	30.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	69.2
販路を広げる	46.2
情報力を強化する	38.5

設備投資動向(%)

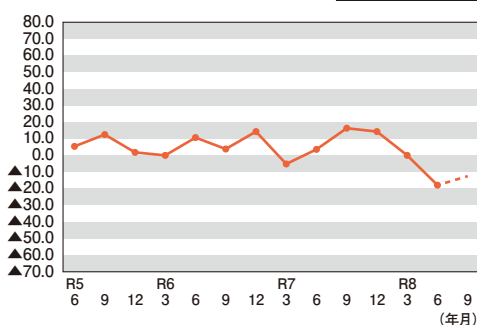
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏（調査数56社・回答数56社・回答率100%）

業況判断DIの推移

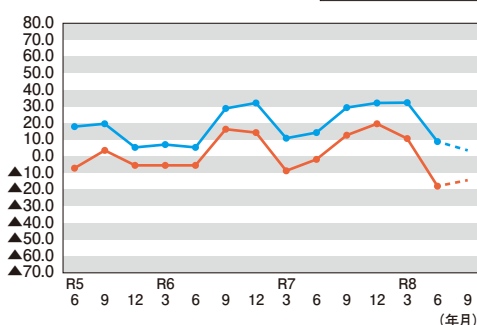


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は▲17.9と前期から17.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下

- ・今期は8.9と前期から23.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下

- ・今期は▲17.9と前期から28.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.6ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・かつお節

仕入先からの値上げ要請が多く、価格転嫁ができていない状況。

・青果小売

仕入値が上昇しており、販売先へ価格転嫁を行えず収益減少。値上げは慎重に対応しており、顧客離れが進まないように販売状況を確認しつつ調整を行っている状況。

経営上の問題点（複数回答）（%）

仕入先からの値上げ要請	28.6
利幅の縮小	25.0
同業者間の競争激化	23.2

当面の重点施策（複数回答）（%）

経費を節減する	53.6
宣伝・広告を強化する	26.8
品揃えを改善する	19.6

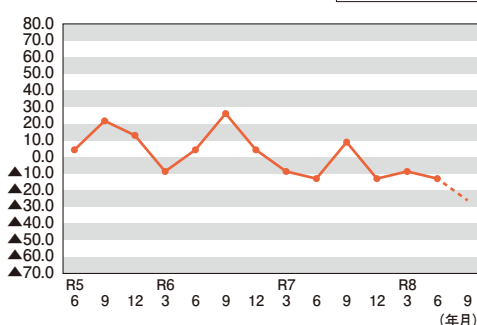
設備投資動向（%）

今期設備投資を実施した	3.6
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.1

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数23社・回答数23社・回答率100%）

業況判断DIの推移

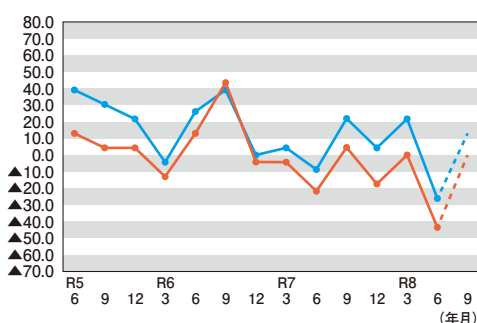


コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は▲13.0と前期から4.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.1ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下

- ・今期は▲26.1と前期から47.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から39.1ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下

- ・今期は▲43.5と前期から43.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から43.5ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・金物、灯油

主力のプロパンガスと灯油は、仕入価格の上昇を価格転嫁しきれず、利益は低調推移である。

・釣り用品、釣具

近年の魚の不漁で釣客の減少が感じられる。釣具のネット販売の増加により競合激しく苦戦している状況。

経営上の問題点（複数回答）（%）

商圏人口の減少	39.1
利幅の縮小	34.8
売上の停滞・減少	26.1

当面の重点施策（複数回答）（%）

経費を節減する	73.9
売筋商品を取扱う	30.4
人材を確保する	26.1

設備投資動向（%）

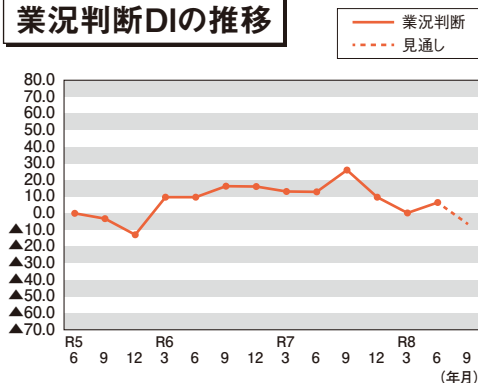
今期設備投資を実施した	8.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	4.3

（不動産、機械、事務機器、車両等）

サービス業

札幌圏（調査数31社・回答数31社・回答率100%）

業況判断DIの推移



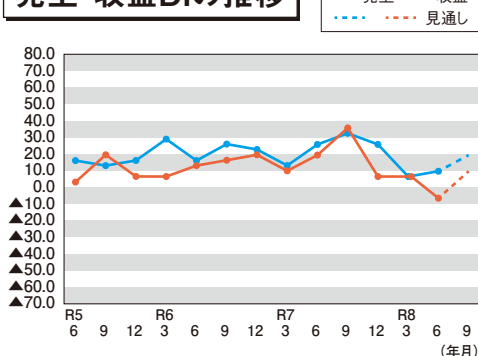
コメント

○業況判断DI～上昇



- ・今期は6.5と前期から6.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇



- ・今期は9.7と前期から3.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から9.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下



- ・今期は▲6.5と前期から13.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.2ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・ラーメン

原材料の仕入価格は高騰しているが、値上げにより利益をカバーしている。既存顧客も多いため今後の業況に懸念はない。

・ゴルフ練習場

積極的なイベント開催、プロ選手による教室を開催するなど集客活動に注力。料金の値上げにより客足が遠のいた時期もあったが、現在は回復傾向にあり売上は堅調に推移する見込み。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人件費の増加	48.4
材料価格の上昇	45.2
人手不足	32.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	54.8
販路を広げる	32.3
人材を確保する	25.8

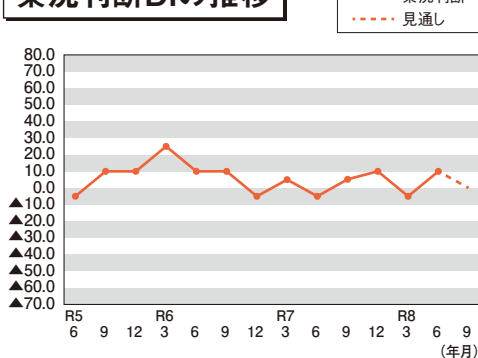
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	9.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	16.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏（調査数20社・回答数20社・回答率100%）

業況判断DIの推移



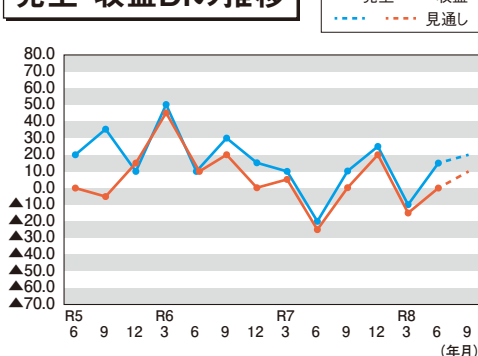
コメント

○業況判断DI～上昇



- ・今期は10.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇



- ・今期は15.0と前期から25.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇



- ・今期は0.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・旅館業

工事業者が長期的に宿泊しており、料理の評判もよく、業況は今後も堅調に推移する見込み。

・自動車整備

官公庁からの受注が好調であり、また整備工場の建替えにより技術力が向上していることから今後も業況は堅調に推移する見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	50.0
人手不足	40.0
人件費の増加	30.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.0
販路を広げる	40.0
人材を確保する	30.0

設備投資動向(%)

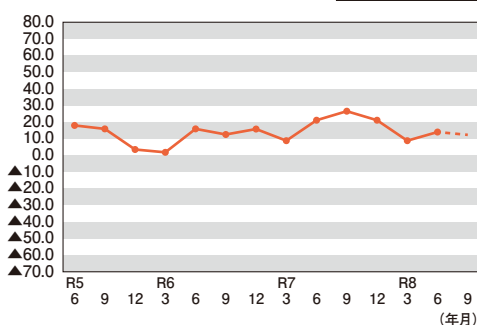
今期設備投資を実施した	25.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

建設業

札幌圏（調査数57社・回答数57社・回答率100%）

業況判断DIの推移



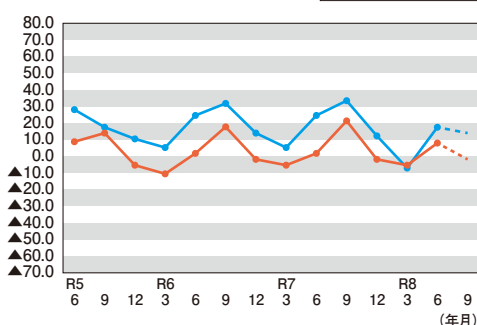
コメント

○業況判断DI～上昇



- ・今期は14.0と前期から5.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から1.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇



- ・今期は17.5と前期から24.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から3.5ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇



- ・今期は8.8と前期から14.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・防水工事業

原材料価格は上昇しているが都度、価格転嫁できていることから特段の懸念はなし。

・クレーン揚重業

札幌駅周辺の再開発工事もあり、おむね受注は良好。

経営上の問題点（複数回答）（%）

材料価格の上昇	73.7
人手不足	35.1
利幅の縮小	22.8

当面の重点施策（複数回答）（%）

経費を節減する	50.9
販路を広げる	38.6
人材を確保する	33.3

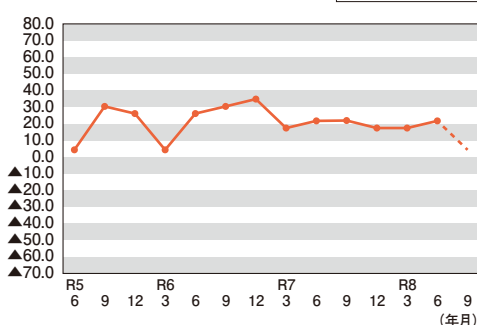
設備投資動向（%）

今期設備投資を実施した	12.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.8

（不動産、機械、事務機器、車両等）

後志圏（調査数23社・回答数23社・回答率100%）

業況判断DIの推移



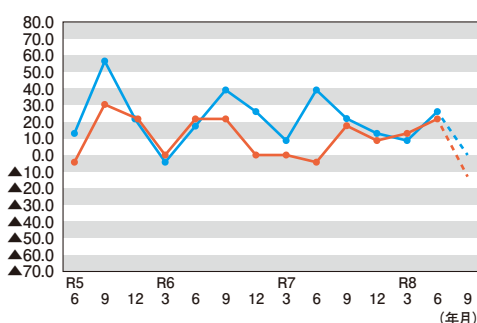
コメント

○業況判断DI～上昇



- ・今期は21.7と前期から4.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から17.4ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇



- ・今期は26.1と前期から17.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から26.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇



- ・今期は21.7と前期から8.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から34.7ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・建築工事

個人客を中心として受注状況は活況であり、売上、利益ともに順調に推移している。

・土木工事、除雪

公共工事の受注が良好に推移していることから、業況は安定している。

経営上の問題点（複数回答）（%）

材料価格の上昇	78.3
人手不足	52.2
利幅の縮小	17.4

当面の重点施策（複数回答）（%）

人材を確保する	65.2
経費を節減する	52.2
情報力を強化する	21.7

設備投資動向（%）

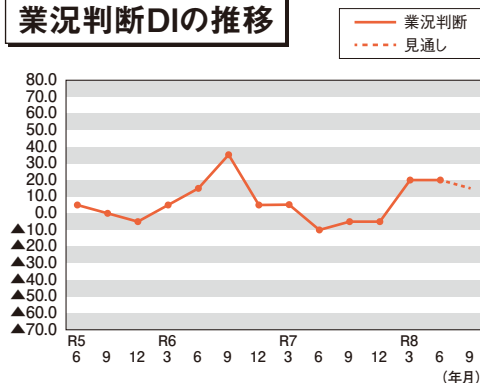
今期設備投資を実施した	13.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.7

（不動産、機械、事務機器、車両等）

不動産業

札幌圏（調査数20社・回答数20社・回答率100%）

業況判断DIの推移



コメント

○業況判断DI～横ばい

- ・今期は20.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下の見通し。

企業のコメント

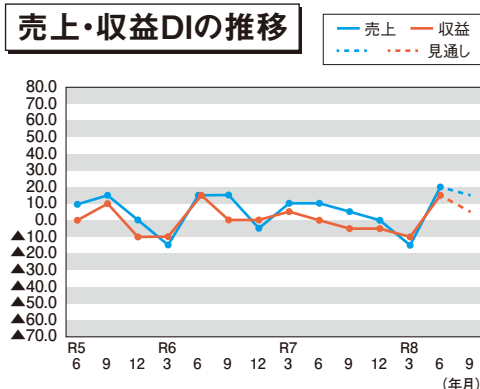
・不動産販売業

今期は注文住宅の販売が順調であり、またトレーラーハウスの売れ行きが好調であることから売上、利益共に増加見込み。

・不動産

物件価格上昇による価格転嫁で、売上、利益の増加を進めている。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～上昇

- ・今期は20.0と前期から35.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇

- ・今期は15.0と前期から25.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.0ポイント低下する見通し。

経営上の問題点（複数回答）（%）

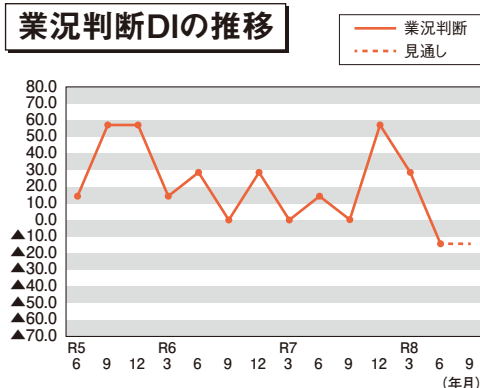
商品物件の高騰	50.0
問題なし	20.0
売上の停滞・減少	15.0

当面の重点施策（複数回答）（%）

販路を広げる	50.0
経費を節減する	50.0
宣伝・広告を強化する	30.0

後志圏（調査数7社・回答数7社・回答率100%）

業況判断DIの推移



コメント

○業況判断DI～低下

- ・今期は▲14.3と前期から42.9ポイント低下した。
- ・来期は▲14.3と横ばいの見通し。

企業のコメント

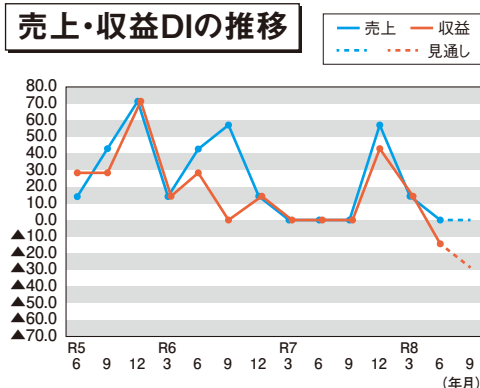
・不動産仲介、土地、住宅販売

価格上昇、燃料高騰の影響から、販売は低調に推移していく見込み。

・中古不動産

中古不動産の仕入価格上昇に伴い、利幅は縮小している。リフォームによる付加価値をつけることで収益確保を図っている。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下

- ・今期は0.0と前期から14.3ポイント低下した。
- ・来期は0.0と横ばいの見通し。

○収益DI～低下

- ・今期は▲14.3と前期から28.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

経営上の問題点（複数回答）（%）

同業者間の競争激化	85.7
利幅の縮小	42.9
商品物件の不足	42.9

当面の重点施策（複数回答）（%）

情報力を強化する	85.7
宣伝・広告を強化する	57.1
販路を広げる	42.9

特別調査

「中小企業における価格転嫁について」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

問1

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の「原材料・仕入価格の上昇分」を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

	製 造	卸 売	小 売	サービ	建 設	不動産	総 合
1. 100%転嫁できている	5.0%	2.3%	8.9%	2.0%	6.3%	0.0%	5.0%
2. 80～100%程度転嫁できている	21.7%	25.6%	26.6%	23.5%	32.5%	14.8%	25.6%
3. 50～80%程度転嫁できている	33.3%	30.2%	22.8%	23.5%	22.5%	22.2%	25.6%
4. 20～50%程度転嫁できている	25.0%	20.9%	13.9%	11.8%	20.0%	25.9%	18.8%
5. 0～20%程度転嫁できている	11.7%	9.3%	20.3%	19.6%	15.0%	3.7%	14.7%
6. 全く転嫁できていない	1.7%	7.0%	5.1%	9.8%	0.0%	7.4%	4.4%
7. 転嫁どころか販売価格は低下している	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
8. そもそも上昇していない	1.7%	2.3%	0.0%	5.9%	1.3%	11.1%	2.6%
9. わからない	0.0%	2.3%	1.3%	3.9%	2.5%	14.8%	2.9%

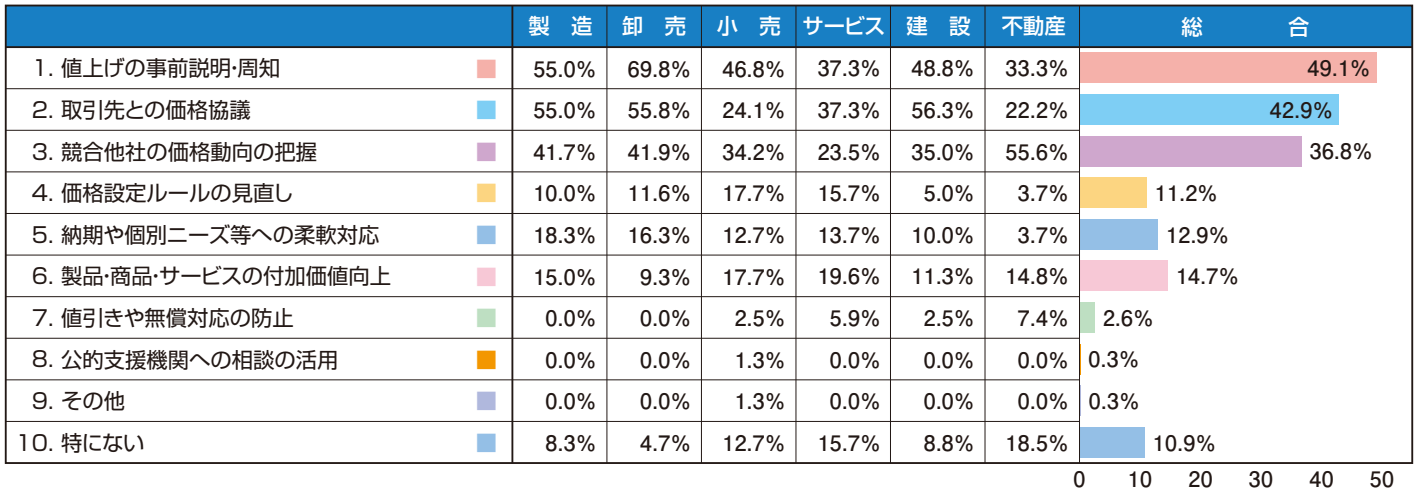
問2

貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の「労務費・人件費の上昇分」を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。

	製 造	卸 売	小 売	サービ	建 設	不動産	総 合
1. 100%転嫁できている	1.7%	2.3%	5.1%	0.0%	5.0%	3.7%	3.2%
2. 80～100%程度転嫁できている	21.7%	16.3%	20.3%	29.4%	31.3%	11.1%	23.2%
3. 50～80%程度転嫁できている	28.3%	37.2%	27.8%	17.6%	25.0%	18.5%	26.2%
4. 20～50%程度転嫁できている	21.7%	16.3%	3.8%	11.8%	18.8%	18.5%	14.4%
5. 0～20%程度転嫁できている	18.3%	14.0%	24.1%	19.6%	16.3%	11.1%	18.2%
6. 全く転嫁できていない	3.3%	11.6%	7.6%	5.9%	2.5%	7.4%	5.9%
7. 転嫁どころか販売価格は低下している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. そもそも上昇していない	3.3%	0.0%	7.6%	9.8%	0.0%	14.8%	5.0%
9. わからない	1.7%	2.3%	3.8%	5.9%	1.3%	14.8%	3.8%

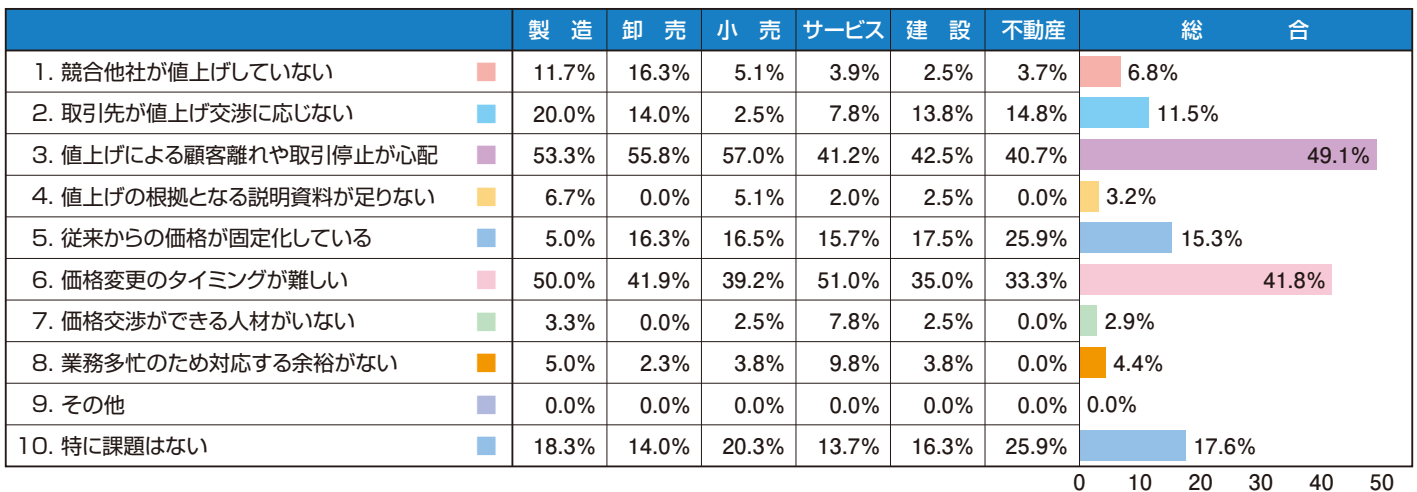
問3

貴社が取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。以下の1～10の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



問4

貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。以下の1～10の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



問5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。以下の1～10の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

